

科目（講座名）	日本史B	2単位	必修選択
教科書	詳説日本史 改訂版（山川出版社）	担当教諭	
副教材	最新日本史図表 二訂版（第一学習社）		

### 学習の目標

系統化された歴史学の知識を理解する過程で、生徒一人ひとりがそれぞれの歴史観を養い、より良い歴史の創造者となる手がかりをつかむことを目標とする。

### 授業内容

「第1章 日本文化のあけぼの」から「第4章 中世社会の成立」を扱う。  
 原始・古代から中世へと展開する歴史の流れを、政治、文化、経済などの様々な観点から学習し、歴史への理解を深める。教科書だけでなく、写真や地図、史料を多く活用し、歴史的な事象を多面的・多角的にとらえる力を養うことを目指す。

### 学習方法

板書を中心とした講義形式。必要に応じてプリント学習を併用する。図表・史料を随時使用する。  
 単元ごとに演習プリントを配布し、学習した基本事項などを確認するとともに、入試問題へ対応できる実践的な学力を養成する。

### 評価の観点

関心・意欲・態度	各時代の政治体制や文化の特色に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。授業や演習に対して意欲的に取り組んでいる。
思考・判断	中央集権や地方の支配体制の変遷や経済・文化の動向から課題を見出し、国内だけでなく東アジア世界との関係や地方の動向と関連づけて多面的・多角的に考察している。
技能・表現	政治権力の変遷や文化の特色に関する現物資料・文献などの史料を活用し、追究・考察した過程や結果を適切に身につけている。身につけた基本事項を議論や論述する場面で適切に活用している。
知識・理解	政治・経済・文化等についての基本的な事情を、国内・国外の事情を加味して多面的・多角的に理解し、その知識を身につけている。

### 評価方法

定期考査を基本に、小テスト・ノート・プリント等の提出物により平常点を加味し、上記の観点を総合して評価を行なう。

年間計画

学期	月	配当時間	単元	学習内容	学習上の留意点
1	4	26	第1章 文化のはじまり  農耕社会の成立	旧石器時代の日本列島地域 縄文時代の文化と社会 弥生時代の文化 小国の分立と統合の動き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古代東アジア世界について、世界史との連携をはかりながら、東アジア世界との交流や日本の諸地域の動向など、多面的・多角的に歴史の流れをとらえさせる。</li> <li>・基本的語句・人名などをよく理解させ、必要に応じて小テストを実施する。</li> <li>・身につけた力(基本事項)を活用し、歴史観を深めさせるため、調べ学習を適宜取り入れる。</li> </ul>
	5		古墳とヤマト政権	ヤマト政権の形成と古墳文化 ヤマト政権と東アジア世界 隋の成立とヤマト政権	
	6		第2章 飛鳥の朝廷		
	7				
2	9	28	律令国家への道  平城京の時代	律令国家の成立 ～天平文化と国家仏教	<ul style="list-style-type: none"> <li>・律令国家形成までの流れを、国内情勢の変化だけでなく、東アジア情勢とも関連付けながら理解させる。</li> <li>・文化における東アジアとのつながりをとらえさせ、奈良と平安時代での争点に着目させる。</li> <li>・貴族社会の成立にともなう、政治形態の変化に着目させる。</li> </ul>
	10		平安王朝の形成	平安京と律令制の再編 ～摂関政治と貴族社会	
	11		第3章 貴族政治と国風文化		
	12				
3	1	16	第4章 中世社会の成立 院政と平氏の台頭	平安時代の地方社会 貴族文化の展開 院政と荘園公領制 ～平安末期の文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公領の変質や荘園の拡大、武士の台頭などに着目して、律令制の変質と摂関政治や院政の展開を理解させる。</li> </ul>
	2		武士の社会	源平の争乱～鎌倉幕府の成立	
	3				